



はじめての給食

九度山小学校新1年生

1年生の給食が始まりました。
先生に教えてもらいながら準備をして、
元気よく大きな声で「いただきます」と言えました。
みんなおいしそうに食べて、とても楽しそうでした。
あとかたづけも、よくできました。

一般会計予算の主な事業

総務費

- 姉妹都市交流事業委託料 86万円
上田市との姉妹都市提携1周年を記念し、両市町の相互信頼と交流の更なる発展のため、町民ツアーを実施します。11月中旬頃に2泊3日の日程で上田市を訪問する予定です。
- パークアンドライド周遊事業負担金 429万円
県・町・商工会・南海電鉄(株)・地元住民代表で構成される協議会を発足し、九度山町の観光資源に触れていただく仕掛けづくりを行います。この協議会の負担金は、県・町が各々429万円を負担します。
- オストメイト対応トイレ整備工事 80万円
大腸や膀胱などの病気治療のため外科手術により人工肛門や人工膀胱となられた方々が、安心して庁舎やふるさとセンターにおいていただけるように整備します。
- 地籍調査委託料 3,286万円
大字下古沢・中古沢・上古沢・笠木・北又地区の地籍調査を行います。

民生費

- シルバータクシー助成チケット使用料 218万円
高齢者の社会参加と生きがい活動を促進するため、町内の公共交通機関のない地域に在住の75歳以上の方を対象に、タクシーチケット(一部助成)を配布します。(1人あたり年間24枚)
- 放課後児童クラブ事業 352万円
九度山小学校の空き教室を利用して、放課後児童クラブいわゆる「学童保育」を実施するのに必要な委託料、整備工事及び備品購入費です。

衛生費

- 生ごみ処理機器購入補助金 63万円
生ごみ処理機器を購入された方に、費用の一部を助成します。

農林業費

- アグリビジネス支援事業補助金 59万円
都市と農村との交流活動を実施する農業者団体等に対し補助するものです。

商工費

- 松山常次郎記念館費 129万円
開館1周年記念として、九度山町を描いた絵を一般から公募し、平山美知子観光大使に金賞等を選出いただき、記念館において九度山百景として絵画展を開催します。

土木費

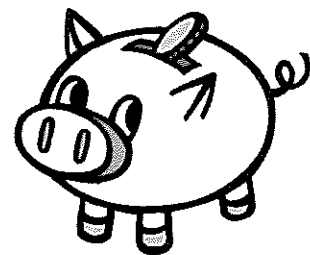
- 町道34号線改良工事 4,175万円
北又橋から北又集落までの拡幅改良工事を行います。(今年度の工事延長は200m)
- まちづくり交付金事業
公営住宅整備事業として、旭住宅建設工事(26戸) 4億500万円
道路整備事業として、町道6・176号線新設改良工事 2,000万円などを実施します。
- 火災報知器設置委託料 152万円
住宅用火災報知器設置が義務付けられたことにより、梅林住宅159戸に火災報知器を設置します。

教育費

- 学校教育関連工事費 3,276万円
学校教育関連施設の改修工事などを次のとおり行います。
○古沢小学校校舎・屋内運動場耐震補強・改修工事
○九度山小学校屋内運動場耐震補強工事
○河根小学校校舎改修工事
○九度山小学校本館屋上防水工事
- 放課後子ども教室推進事業 42万円
河根校区において河根児童館等を利用して、小学生を対象とした様々な体験や学習などの取り組みを実施します。

特別会計予算

会計名	歳入歳出予算額	対前年度比
●国民健康保険	7億300万円	7.4%減
●老人保健	1億6,547万円	82.8%減
●後期高齢者医療	1億7,804万円	—
●介護保険	6億4,037万円	3.5%増
●簡易水道事業	1億8,790万円	0.3%増
●下水道事業	2億1,872万円	3.8%減



まちの予算をお知らせします

平成20年度予算内訳

一般会計 34億7,160万円
特別会計 20億9,350万円
計 55億6,510万円

平成20年度の予算が決まりました。
歳入・歳出の内訳を皆さんにお知らせします。

予算の規模

平成20年度一般会計と特別会計を合わせた規模は、55億6,510万円です。前年度当初予算と比較すると、8・9%減となりました。

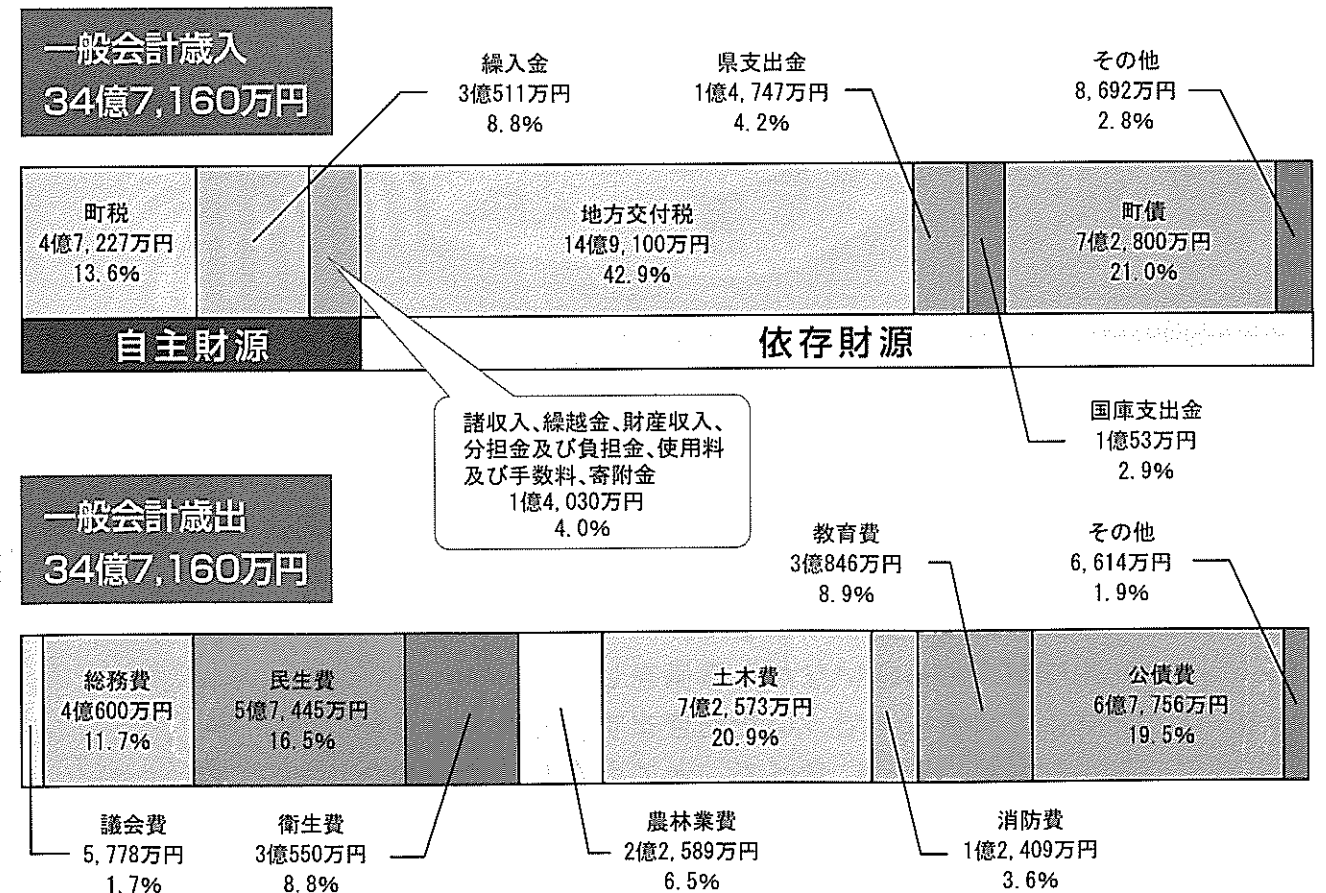
歳入

町に入ってくるお金は、「自主財源」と「依存財源」に区別できます。

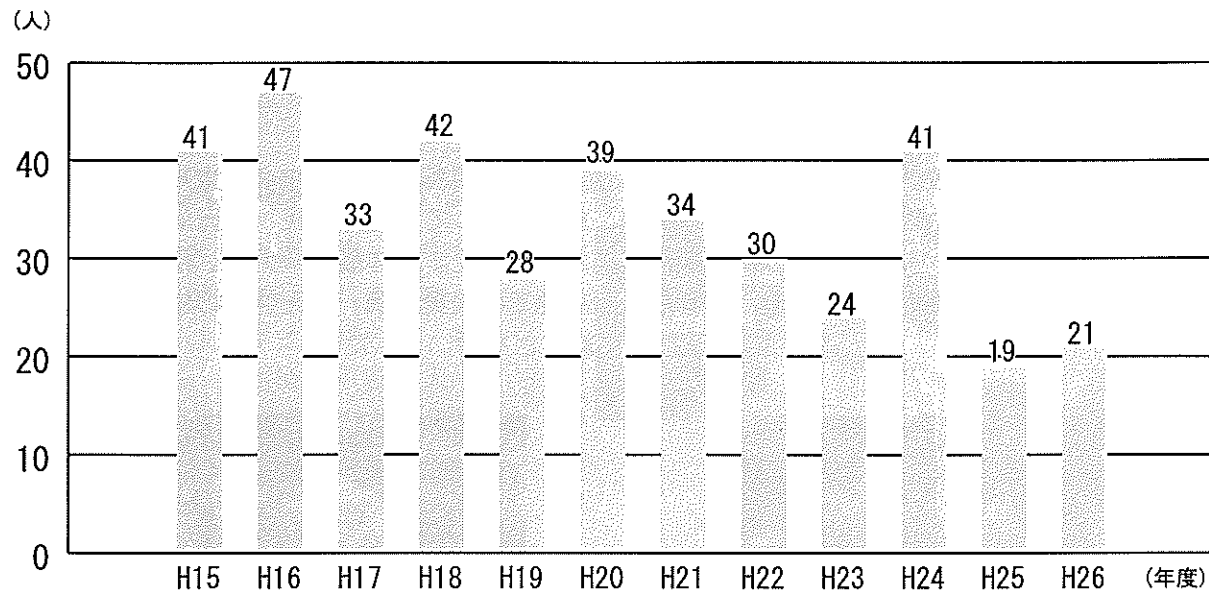
「自主財源」とは、町が単独で確保できるお金をいいます。本町の自主財源で一番多いのは、町民の皆さんに納めていただく町税で、全体の13・6%を占めています。「依存財源」とは、国庫支出金のように国や県などから入るお金です。依存財源では地方交付税が全体の42・9%を占めています。

歳出

町が皆さんのために使うお金で一番多いのは、土木費で全体の20・9%を占めます。土木費では、平成16年度から継続している「まちづくり交付金事業」が今年度で最終年度となります。今年度は事業のメインである、旭住宅建設工事が行われます。次の頁に平成20年度の主な事業を紹介いたします。



九度山町小学校1年生入学者数



[※平成21年以降は住民基本台帳による]

九度山町の教育②

生き生きとした学校を目指して

入園・入学児のみなさん！おめでとう！
もう1か月がたちました。
学校（園・所）は楽しいですか？

くどやまっ子の9つのおやくそく

- ①えがおの あいさつっ子
- ②ありがとう といえるっ子
- ③ものなど だいにするっ子
- ④あかるく やさしいこころっ子
- ⑤きまりや やくそく まもるっ子
- ⑥おはなしを きちんときけるっ子
- ⑦いきものを たいせつにできるっ子
- ⑧ともだちを こまらせたりしないっ子
- ⑨なぜ？ どうして？ とかかんがえるっ子



●教育の原点

教育を語るとき切磋琢磨という言葉を使う人がいます。一つの物差しやルールによって競争し合うといったイメージがありますが、本来の意味は、「仲間どうし互いに励まし合って学徳を磨くこと」（広辞苑）です。

まさに教育の原点は切磋琢磨しながら深めていく共育だと思えます。学校、家庭、地域がそれぞれの立場からの教育の課題や問題を共有し話し合い（協働）、地域の子どもは地域で育てるという信念をもって、共同学習しながら教育を充実していくという考えが大切です。特に近年、次代を担う子どもたちの数が激減する本町においては、子どもたちは文字どおり私たちの宝、地域の宝であり、独創的で特色ある教育をおととして、心豊かでたくましい人材を育成していくことが最重要課題です。

●教育改革の視点

こうしたことから、一人ひとりの個性と能力を引き出し、大切に伸ばす教育がなされているかを絶えず点検しながら、今後に向

けて真剣に取り組むことが求められています。そして、わが町の子どもたちに「ほんまもん」の力（生きる力）をつけるため、次のような要目を主眼として教育の改革、あるいは、共育の推進を図ってまいります。

①「学力観」の視点

*これまで強調されてきた「個性重視や個に応じた教育」の成果の点検と改革という視点
*知識↓体験↓感動↓意欲↓応用（発展）↓言葉表現（表現力）
↓理解（実践・活用）という学力定着のプロセスの点検と今後の改革という視点

②学校・家庭・地域の連携の視点

*学校・保護者・地域が教育に対する願いや課題を共有し、話し合い解決していくといった「つながり」をより一層深めていくという視点
*地域の人や自然とのつながり（共同学習）をつくる子どもが子どもにとっての最高の教育機会であるという視点

③心のきずな・ふれあいの視点

*児童生徒と学校のきずな、保護者と学校のきずな、保護者と地域のきずなをより一層強いものにするという視点

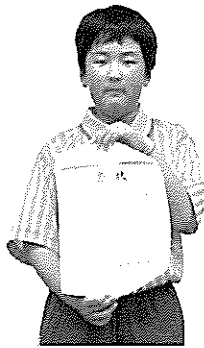
スポーツがんばっています!!

九度山 Jr.ソフト テニスクラブが好成績

●第7回全国小学生ソフトテニス大会

3月30日、31日に千葉県白子町で開催され、次のとおり好成績を収めました。

【男子4年生以下の部】
第5位 西畑直輝



●第3回下津ジュニアカップ

4月5日に海南市で開催され、次のとおり好成績を収めました。（敬称略）

【団体戦】
優勝 団体Aチーム
西畑直輝・田中佑佳・

川口麻帆・岡田良太・岡本輝

【個人戦・男子の部】

優勝 西畑直輝

【個人戦・男子の部】

準優勝 田中佑佳

川口麻帆



日本拳法

九度山支部が好成績

●第24回日本拳法和歌山大会

3月30日に海南市の拝待体育館で開催され、次のとおり好成績を収めました。（敬称略）

【高校女子の部】

準優勝 玉置尚子

【中学校男子の部】

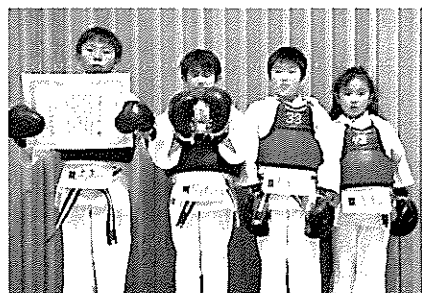
中学校2年生

準優勝 玉置友健

第3位 瀬越靖弥

第3位 九度山支部A

神保直哉
尾鼻友弥 他



新入園・入学おめでとう

4月に町内各地の幼稚園・小中学校で入園・入学式が行われました。

右上の写真は入学式を終えて、初めて教室に入って期待と不安が入り交じった様子の九度山小学校新1年生。右下は6人の新入生を迎えた河根小学校入学式の様子です。

なお、今年の新入園児は16名、新入生は小学生39名、中学生29名でした。



公営駐車場が完成しました

このたび、真田地区に公営駐車場が完成しました。まちづくり交付金事業により約8,400万円をかけて建設されました。

本駐車場は、真田庵をはじめ町内の名所を観光する方が一時的に駐車できます。

駐車できる車の台数は18台（バス3台、身障者用1台、普通車14台）です。

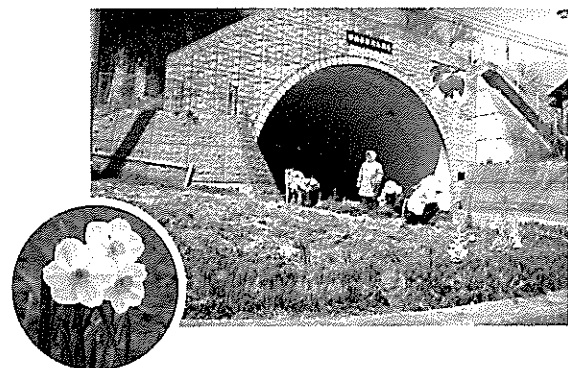
利用時間は午前8時から午後6時までです。



花を植えました

繁野地区ゆめさきトンネルの入口付近の町有地に、地元の「寿老人クラブ」16人が花を植えました。

花はクラブの会員が各自持ち寄り、「あやめ」「水仙」「菖蒲」など10種類以上が植えられています。



丹生川区防災訓練が実施されました

4月6日、丹生川小学校グラウンドにおいて、午前8時50分に和歌山県を中心に大規模な地震が発生し、家屋の倒壊、多数の負傷者及び火災が発生したと想定して、地域住民・地元消防団・伊都消防署・橋本警察署などから多数参加し、訓練が実施されました。煙体験コーナー、伊都消防による負傷者の手当の実演や救助訓練、高温になった天ぷら油での火災実演、地元住民の皆さんと地元消防団によるバケツリレー、地元消防団による放水訓練などを行いました。



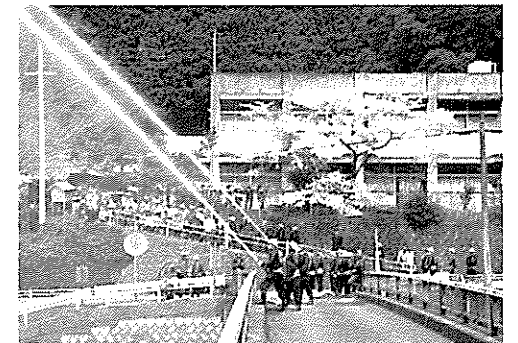
伊都消防により、負傷者の手当の方法を教えてくださいました。



地域住民の皆さんと地元消防団員によるバケツリレーの様子



高温になった天ぷら油での火災実演では、ほんのわずかの水を注いだけで、炎が舞い上がりました。



地元消防団による放水訓練の様子

交通安全を願い全国行脚

4月8日午前、那覇市在住の西村 互（わたる）さんが役場を訪問されました。西村さんは交通事故の撲滅を訴え続け、オートバイで全国行脚をしていましたが、途中、交通事故に遭われ右足を失いました。その後自動車の運転免許を取得し、全国行脚を再開され、現在に至っています。

当日、西村さんは車椅子で来庁され、ご自身が書いた色紙を九度山町に寄贈していただきました。そして西村さんから交通事故撲滅について語っていただきました。色紙には、「悲惨な交通事故の撲滅は一人一人の自覚ある行動から」と書かれてあります。



西村さんから色紙を寄贈されました

町民の皆様へ（お詫び）

先般、新聞やテレビで報道がありましたとおり、町職員が収賄容疑で逮捕される事態となり、町民の皆様方をはじめ関係機関の皆様方に多大なるご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

本町においてこのようなことが起きたことは、誠に残念でなりません。

今後、町といたしましても捜査に全面的に協力すると共に、状況を見ながら適切に対応し、このようなことが二度と起こらないよう、職員の綱紀肅正に努める所存であります。

九度山町長 岡本 章

委 嘱

人権擁護委員

4月1日より次の方が人権擁護委員に委嘱されました。（敬称略）

坂本 博（入 郷）

異 動

町職員の異動

4月1日付けで、次の職員の間動を行いました。

■参事級

▽総括参事 前滝 悟

■企画公室

▽主事 田村 宏

■総務課

▽課長 下西 俊幸

▽課長補佐 柳谷 勝

▽主任 増谷 潤

■産業振興課

▽係長 横田 武志

▽主任 小佐田美保

■出納室

▽出納室長兼会計管理者 西峰 清澄

■住民課

▽課長補佐 名倉 貞子

▽係長 森 町子

▽主任 小佐田 洋

▽主事 井浦 岐子

▽主事 松原 通子

▽主事 吹本 隆代

▽課長 坂本 真史
▽課長補佐 前田 耕三
▽主任 栗本 健司

■税務課

▽課長 下坊こずえ

▽課長補佐 倉谷 泰弘

▽主任 今西 暁

■水・土整備課

▽専門員 神原 由岳

▽係長 田和 浩

■教育委員会

▽教育次長兼学校教育課長 小田 静子

▽社会教育課長 岡 利次

▽学校教育課係長兼学校給食共同調理場長 岡 潔

▽九度山幼稚園係長待遇 浦 美幸

▽木瀬 雅照

▽稲垣 憲昭

▽堀口 久男

▽窪田 安男

▽池田 佳隆

▽吹本 隆代

▽松原 通子

●退職（3月31日付）

選 挙 管 理 委 員

このたび、任期満了に伴う改選があり、次の方々が選挙管理委員に選ばれました。（敬称略）

○委員長

関口 忠男（九度山）

○委員

〔職務代理者〕

海堀 彰（九度山）

西平 惠勇（入 郷）

岡 好治（九度山）

改 選